

第4回 大阪・兵庫・和歌山 エリア学生委員会

【発行元】全国大学生協連関西西北陸ブロック

開催概要

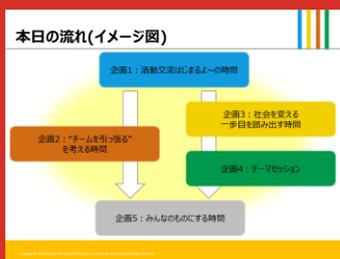
日程：2019年9月21日(土) 10:00～17:00
 場所：関西学院大学 BIG PAPA食堂
 内容：心をビリビリ震わせる時間
 活動交流はじまるよ～の時間
 “チームを引っ張る”を考える時間
 社会を変える一歩目を踏み出す時間
 テーマセッション
 みんなのものにする時間
 エリア学生委員会 年間総括



参加者 (カッコ内は人数)

近畿大(3)、大経大(1)、阪南大(1)、阪電通(1)、樟蔭女(2)、
 大阪大(4)、大教大(2)、阪市大(2)、神戸大(1)、関学大(2)、神外大(3)

計11会員22名の参加がありました！



#4のテーマの2本柱が始めと終わりでまとまるように企画を設定しました。

XX 今回の工学委のテーマについて

「執行代」と「社会的課題」の2本柱！

工学委#3のアンケートでいただいた意見と今年度のエリアの成長の流れから、「執行代の取り組み」についてエリアで考えました。それに加えて、社会的課題に取り組む会員生協が増えてきているところで、なぜそれに取り組むのかをもう一度考えてみる機会を設けるため、「社会的課題」についてをもう一つの柱としました。

01 活動交流はじまるよ～

工学委#4のはじめの一歩！

前期に行った活動を班員に紹介する時間をはじめに行いました。特に組合員をどのように巻き込んだかをテーマとして、今後の活動のヒントを得ました。さらにテーマの2本柱に対してこの時間は、各生協の特徴を見つけるため、また、仲間たちが取り組んだ社会的課題に対する取り組みを知るためという役割があります。



組合員の巻き込み方には当日の参加という点だけでなく意見をもどのように取り入れたかなど活動を作る段階も含まれています。

02 チームを引っ張るを考える

新入生ではなく一人の学生委員として…

前回の工学委#3では夏が新入生を一人の学生委員にする時期として捉え、そして今回は新入生成育を終えた学生委員会というチームを引っ張るために執行代として何ができるかを考えました。違う大学生協の学生委員同士で新入生成育の現状を交流することで、自大学に対する客観的な新たな視点を得ることができました。

正副委員長が引っ張っていくのではなく、執行代のメンバーがそれぞれ役割をもって引っ張っていきなうに考えました。

03 社会を変える 一歩目を踏み出す

なぜそれに取り組むのか、もう一度考えました

社会的課題に対して様々な行動提案がされていますが、その行動がなぜ社会によいのかを再度考えてみる時間として班で行動について意見交流を行いました。

まずは身近な問題として「レジ袋使用削減」と「ごみの分別」について班で交流し、さらに発展的な内容として「地産地消」についての理解と考えを深めました。

まとめ

社会的課題の取り組みがしたいけど何からしたいかわからない...という人たちも、みんなで考えてみるのが社会を変える一歩目になるかも！



一人での問題意識を周囲に伝えてみんなで取り組むことで、社会を変えられるはず！

04 テーマセッション

企画01や03をさらに深めました

工学委では恒例となったテーマセッションですが、今回は企画01の活動交流でさらに深めたい！と感じた分野について交流ができるように推進分野ごとのテーマを設けました。それに加えて、消費者教育や環境のテーマでは企画03をさらに深めることができました。

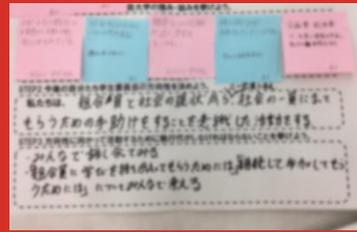


不安なテーマに参加するだけでなく、得意なテーマに参加しても学びがあります！

05 みんなのものにする

一人ではなくみんなで取り組む

各大学ごとに集まり今日の学びをどのように活動に活かすかを話し合う時間でした。今回は企画02のチームを引っ張る時間より、学生委員会の方向性を決めることで執行代全体として取り組めるようにするためと、企画01,02,03で得た個人の問題意識を学生委員会全体の問題意識とすることで今後全員で取り組めるようにするために話し合いました。



ワークシートに自分たちの強み弱みを挙げてから、それを活かして方向性を決定しました。

+A 19年度エリア学生委員会 全4回が終了◎

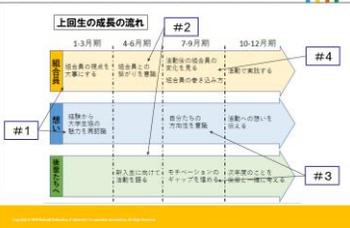
学生委員と学生事務局がともに考える場

エリア学生委員会は「機関会議として」・「悩み解消の場として」・「気づきを活動に繋げる場として」という3つの役割を持ったエリアの基幹会議として今年度全部で4回行ってきました。今年度の工学委では「一緒に考える」という点を意識しており、学生委員も学生事務局も、つまりエリア全体として成長できたと思っております。

次回のエリア学生委員会は来年度！

19最後の工学委でしたが、20の始まりの工学委でもありました！来年度どのさらなる発展期待しています！
文責：ブロック学生事務局
[多根井 陽・橋爪 遼太郎]

4回の工学委を通して



全4回のエリア学生委員会を通して、上回生の成長の流れをサポートしてきました。

12 つくる責任
つかう責任

13 気候変動に
具体的な対策を

14 海の豊かさを
守ろう

15 陸の豊かさも
守ろう

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

